

2010年3月8日

各 位

みずほ証券株式会社

アフリカ開発銀行「クリーンエネルギー・ボンド」の発行、ならびに本邦投資家への販売について

みずほ証券株式会社（以下「当社」、取締役社長：横尾敬介）は、アフリカ開発銀行（African Development Bank 以下「AfDB」）が発行する債券「クリーンエネルギー・ボンド（以下「本債券」）の販売を行うことをご知らせいたします。本債券は、AfDB が、グローバル・デット・イシューアンス・ファシリティ（Global Debt Issuance Facility）に基づき、クリーンエネルギー開発事業に必要な資金調達を支援するために発行するものです。

<本債券の概要>

本債券は、2014年3月満期ニュージーランドドル建債券で、ユーロ市場で発行され、みずほインターナショナルが引受人となり、みずほ証券が2010年3月9日から本邦リテール向け販売の勧誘を開始いたします。

AfDB は、クリーンエネルギー・ボンドの発行により調達する資金の少なくとも同額を、AfDB の承認するアフリカの「クリーンエネルギーへの投資枠組み(Clean Energy Investment Framework ; CEIF)」に基づく融資プロジェクト、及び、「気候変動に対するリスク管理と適応戦略 (Strategy on Climate Risk Management and Adaptation ; CRMA)」への取組みを支援する融資プロジェクトに充てられるべく最善の努力を行います。

本債券は、AfDB のクリーンエネルギー関連の融資ポートフォリオのパフォーマンスに直接連動はせず、AfDB 自身の信用力により元利払いが行われます。そのため、本債券の投資家は、AfDB が持つアフリカにおけるエネルギーや環境関連分野での専門性に依存しつつ、個々のプロジェクトのリスクを負うことなく、AfDB が行うクリーンエネルギー投資事業に寄与・貢献することが可能となります。

本債券は、ムーディーズおよび S&P の両格付け機関より Aaa/AAA が付与される予定です。

<本債券への投資の意義>

投資家は本債券への投資によって、AfDB がアフリカにおいて行う電化プログラム・発電力の強化・主要公共設備へのエネルギー供給、電気のない世帯向けの独立型プロジェクトの促進、環境への負荷の少ない燃料の促進などエネルギーアクセスという課題への取組みのほか、再生可能なエネルギーの推進とエネルギー効率の向上にむけた支援、さらには、ナイロビ・フレームワーク内で他の2国間および多国間機関、国連 (UN) 機関と連携する気候リスク管理などの活動に寄与することができます。

エネルギーアクセスへの課題は、アフリカにおける貧困の改善、人々の生活水準の向上、アフリカ地域の経済発展とも密接な関係があるため、クリーンエネルギーによるエネルギーアクセスの整備は環境問題への対応であると同時にアフリカ社会・経済の発展のための支援活動であるとも言えます。

当社は、今回初めてとなる AfDB による「クリーンエネルギー・ボンド」の販売によって、日本国内の投資家に S R I（社会的責任投資）の機会を提供いたします。

みずほフィナンシャルグループでは、これまで「環境への取り組み」を C S R の重点分野として取り組んでまいりましたが、今後につきましても、金融機関としての本業を通じた地球環境保全・持続可能な発展に寄与する活動をさらに推進してまいります。

【アフリカ開発銀行について】

アフリカ開発銀行は、アフリカで多くの国が独立した 1964 年にアフリカの経済開発促進を目的に発足した融資機関で、各国の債務危機の救済と運輸・通信・衛生・教育・経済・社会インフラの整備も行っています。アフリカ経済委員会の斡旋で発足し、1966 年に業務を開始しました。加盟国はアフリカの全独立国のほか日米独などの域外国 24 カ国で構成されています。AfDB が発行する債券はムーディーズ・インベスターズ・サービス・インク（以下「ムーディーズ」という）およびスタンダード・アンド・プアーズ・レーティングサービス（以下「S&P」という）の格付け機関からそれぞれ Aaa/AAA の格付けを付与されています。

以 上

金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動などにより損失が生じるおそれがあります

- 外貨建債券の市場価格は、基本的に市場の金利水準の変化に対応して変動します。金利が上昇する過程では債券価格は下落し、逆に金利が低下する過程では債券価格は上昇することになります。したがって、償還日より前に換金する場合には市場価格での売却となりますので、売却損が生じる場合があります。また、市場環境の変化により流動性（換金性）が著しく低くなった場合、売却することができない可能性があります。
- 金利水準は、各国の中央銀行が決定する政策金利、市場金利の水準（例えば、既に発行されている債券の流通利回り）や金融機関の貸出金利等の変化に対応して変動します。
- 外貨建債券は、為替相場（円貨と外貨の交換比率）が変化することにより、為替相場が円高になる過程では外貨建債券を円貨換算した価値は下落し、逆に円安になる過程では外貨建債券を円貨換算した価値は上昇することになります。したがって、売却時あるいは償還時の為替相場の状況によっては為替差損が生じるおそれがあります。

有価証券の発行者または元利金の支払いの保証者の業務または財産の状況の変化などによって損失が生じるおそれがあります

- 外貨建債券の発行者や、外貨建債券の元利金の支払いを保証している者の信用状況に変化が生じた場合、市場価格が変動することによって売却損が生じる場合があります。
- 外貨建債券の発行者や、外貨建債券の元利金の支払いを保証している者の信用状況の悪化等により、元本や利子の支払いが滞ったり、支払不能が生じるリスクがあります。

手数料など諸費用について

- 外貨建債券を募集・売出し等により、または当社との相対取引により購入する場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。
- 外貨建債券の売買、償還等にあたり、円貨と外貨を交換する際には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。
- 外国証券取引口座管理料は無料です。

商号等：みずほ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第94号

加入協会：日本証券業協会、(社)日本証券投資顧問業協会、(社)金融先物取引業協会